

あなたの際だった特質はなんですか？

不可解なものとの境界まで旅してみたい欲望

幸運とはどのようなものだと思いますか？

鬼火（人魂）、その上には北極星

不運とはどのようなものですか？

泥沼、その上には北極星

どこで暮らしたいですか？

好きなことを考えていられる場所が一番と思わない人はいない。

一番心から望んでいることは？

だめ、だめ、そんなことは言えない。

どのような歴史上の出来事が、あなたにとってもっとも不快ですか？

われわれを一番傷つけたこと。

どのような誤りなら、許せますか？

いろいろあるけど、自分の犯した間違いだね。

理想と現実のどちらが好きですか？

人間は、生活しながら願望を抱く。

達成するのがもっとも難しいことは？

自分自身の胸中（意図、志、策略）を見抜くこと。

一番好きな（仕）事は何ですか？

あなたの際だった特質として述べたこと。

どのような政治傾向に共感できますか？

共感できるものはない。

どのような楽しみが、一番ですか？

例えば、タバコを吸うことは好きだね。

愛を定義してください。

二人で知らず知らずに、自分自身よりおそらくましな三人目を作り出すこと。

「私の生涯」 Mein Lebenslauf 1907年4月 74才

私の生涯はまもなく語られることになる。

静謐な永遠の中に迷い込んで私は眠るだろう、

目に見える形に生まれ出るまでは、なにも不自由はなかった。

しかしどうしたことから？

— 弱々しい松葉杖にすがり、軽い荷物を背負い、私はゆっくりとよろよろ歩いてきた。

ときには背を伸ばし、ときには背を丸め、

そしてとうとう一休み。

考え深げに禿げた頭をなぜながら、あたりを見回した。

ああ、なんてことだ！私はぐるぐる回ってただけで、ふたたび昔の場所に佇んでいる。

そして、私の前にはかつてのように、遠くまで洋々と悠久が広がっている。